

a 学校教育目標	夢に向かって かかわり合いながら 伸びていく子どもの育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 将来の夢と生きる力を育み、ふるさとを愛する人材の育成 【ビジョン】(自校の将来像) 知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成 家庭・地域と連携した「協育」の推進 保護者や地域の信頼に応える学校づくり
----------	------------------------------	----------------------	---

評価計画			自己評価					学校関係者評価							
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	担当	10月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	改善方策2月	評価			コメント
						h 達成値	h 達成値					適正	不明	不適正	
確かな学力	◎国語・算数における基礎・基本の徹底	○基礎・基本タイムに毎月1回確認テストを実施する。	・単元末テスト 平均85点以上 ・基礎基本定着状況調査、標準学力調査 県比2pアップ	100%	平原	テスト:国88.7点 算84.8点 基礎基本 国79.4%(0.9up) 算86.7%(8.9up)	テスト:国89.7点 算85.3点 標準学力 国81.0%(2.8up) 算76.6%(0.2up)	89%	B	標準学力では国語・算数とも期待正答率は上回っている。算数は0.2Pアップであり、活用の問題に課題が見られる。	フォローアップワークシートを中心に、3学期末までに課題のあった問題は2回以上繰り返す。また、活用問題のプリントを学力補充の時間に実施する。	○ ○	○		
	○児童の学習意欲向上	○一人3回以上の授業研究と定期的な授業観察をする。 ○児童アンケート「勉強が分かる」肯定的評価を高める。	・授業研究回数 ・肯定的評価の割合	3回 80%	平原	授業研究回数 全員3回実施 アンケート肯定的 評価 85%	授業研究回数 全員3回以上実施 アンケート肯定的 評価 79%	99%	B	授業研究は計画的に行っている。「勉強がわかる」と答えた児童は10月より減少したことは課題である。	複次授業では、学習リーダーを中心とした学習の進め方が少しずつ向上してきた。次年度に向けて、ペアや全体での話し合いが充実するよう指導する。ノート交流をし、参考にさせる。	○ ○ ○			教師と児童の関係がびったりとしている。
	○家庭学習の充実(設定時間・自主学習)	○学習時間を設定する。(低30 中40 高60分) ○自主学習に取り組みさせる。(1ヶ月低10 中20 高30ページ以上)	・家庭学習設定時間と自主学習の学年目標の達成率	80%	平原	家庭学習 84% 自主学習 100%	家庭学習 91% 自主学習 100%	107%	A	家庭学習の習慣化はほぼできている。自主学習内容の工夫が必要である。	家庭学習の習慣化ができてきた。自主学習の目的を学年に応じて児童に知らせる。ノートの交流や掲示を通して、更に意欲的に自己学習に取り組めるようにしていく。	○ ○			家庭学習・自主学習の評価をどうするか。
	◎読書の習慣化	○課題図書、ブックトークで紹介された本を読ませる。 ○昼の帯タイム及び家庭での読書時間を設ける。	・必読書読破10冊以上 ・家庭読書 1週間50分	80%	大畠	必読書読破10冊 取組中 家庭読書 66%	必読書読破10冊 60% 家庭読書69%	81%	B	読書タイムでは、自主的に静かに読むことは定着している。必読書読破冊数は、達成できなかった。家読の習慣がついていない児童が30.9%いる。	読書ビンゴに継続して取り組む。読書量を評価するなどして、家読の習慣化に向けて更に家庭によびかける。次年度に向けて必読書の見直しと整備を行う。	○ ○ ○			
	○「話す」「書く」を中心とした表現力の向上	○作品応募(作文2回・俳句等1回)	・作品応募回数	3回	大畠	作品応募 全学級 3回以上	作品応募 全学級 3回以上	100%	A	作品は夏季休業中と2学期(文集三原の子どもたち・書道コンクール・家族のきずな・ことばの輝きなど)に1回以上応募した。	今後も、がんばった児童を全校児童に紹介し、意欲につなげる。前半に偏らないように、年間の応募計画を作成する。	○ ○	○		習字は本校の特色であり書く領域に位置づけてはどうか。
豊かな心の育成	◎元気の出る挨拶と「はい」の返事	○指標をしっかりと示し、学校内での挨拶・返事に取組む。 ○月1回あいさつ運動を行う。	・満点挨拶レベル4(100%) 満点挨拶レベル6(75%)	100% 75%	三好	挨拶4レベル100% 挨拶6レベル 85%	挨拶4レベル 100% 挨拶6レベル86%	107%	A	自分から進んであいさつする児童が増えた。しかし、はっきり言えなかったり校外で挨拶できなかったりする児童への指導が必要である。	教師が手本となる挨拶を行ったり、肯定的評価を行ったりする。挨拶のレベルを3段階に整理し、更に気持ちのいい挨拶ができるようにしていく。	○ ○	○		校内ではとても良いが校外では107%は問題がある。義務化にせず、挨拶の意をしっかりと考えさせてほしい。
	○くつ・スリッパそろえ	○児童会とタイアップした呼びかけ・集計・朝会での評価を行う。	・児童アンケートによる達成率 くつ100% スリッパ80%	100% 80%	三好	くつそろえ 92% スリッパそろえ 86%	くつそろえ 95% スリッパそろえ 81%	98%	A	トイレのスリッパは、意識してそろえる児童が増えた。くつそろえもほとんどできている。	次に使う人のことを考えて行動できるようにという意識を持たせ100%をめざす。	○ ○			
	○黙ってすみずみまできれいに掃除	○掃除の反省で点検表を利用し振り返りをさせる。	・「黙って」「すみずみまで」掃除 達成率	90%	三好	78%	79%	88%	B	黙って協力しながら正しく用具を使って掃除をしている。もつとすみずみまできれいにできるようにしていく。	児童とともに清掃しながら指導を継続する。	○ ○	○		
	○時計を見て行動	○9月からノーチャイムにする、朝会・掃除時間に、3分前の放送を入れる。	・「時間を守る」児童アンケートによる達成率	85%	三好	74%	81%	95%	B	授業や掃除時間に間に合うように、時計を見たり声を掛け合ったりして行動する児童がふえたが休憩終了時に遅れる児童がいる。	ノーチャイムの効果は出ているが、3分前行動を徹底するよう学級指導を継続していく。お互いに声をかけて守れるような集団作りをすすめる。	○ ○			とても良い取組だと思う。
	○廊下や階段を静かに右側歩行	○児童会とタイアップした呼びかけ・集計・朝会での評価を行う。	・児童アンケートによる達成率	85%	三好	74%	52%	61%	C	職員が意識統一して声を掛け合い指導してきたが、教室移動の時、急いで行動している時、守られていない実態がある。	静かに行動する大切さを考える、やり直しをするなどして、静かに廊下歩行を徹底させる。また、朝会時は各担任が一緒に行動し習慣づける。	○ ○		○	廊下や階段を静かに右側歩行することの意味をしっかりと考えさせてほしい。
健やかな体	◎バランスのよい体づくり	○柔軟性を高める。 ○体育の時間には、毎時間柔軟運動・サーキットを実施する。	・スポーツテストの柔軟性種目平均 前年度比2pアップ	100%	坂井	柔軟種目前年度比 2pアップ(7月実施)	柔軟性種目平均 7月実施時より 0.5pアップ	125%	A	長座体前屈は前年度比2.5ポイントアップできた。個人差が大きいことが課題である。	毎時間体育の時間に柔軟体操やサーキット運動のやり方の工夫をしながら今後も継続していく。	○ ○			すばらしい取組だと思う
	○バランス・持久力アップ	○毎朝3分間、自主マラソン(縄跳び)をする。(期間をきめて)	・自己目標達成率	80%	坂井	未実施	・縄跳自己目標達成率 74% ・マラソン自己目標達成率 86%	101%	A	毎朝3分間自主マラソン・なわとびを実施した。なわとびは期間が短かったので成果が出なかった。	1学期3分間マラソン、2学期なわとびをするように年間計画を見直す。がんばりカードを工夫し、目標達成に向けてがんばられるようにしていく。	○ ○			
	○生活リズムの確立	○重点の取組目標を設定し、チャレンジウィークで点検する。資料を作成し、年2回保護者へ連絡する。	・アンケートによる生活改善率前年度比5Pアップ(早寝)	100%	坂井	早寝 2.9p アップ	10時までに寝る 10月より0.6pアップ	93%	B	改善は図られてきているが、低学年の就寝時刻が遅くなる傾向にある。	3学期のチャレンジウィークの取組では、課題のある児童の保護者と直接連絡をとり、やりきるように協力をお願いする。	○ ○			
信頼される学校	◎積極的な情報発信	○便りの内容の充実	・毎月1回以上の学級通信発行 ・内容は職員の自己評価	100% 90%	土居	全学級 毎月1回以上発行 自己評価 70%	全学級 毎月1回以上発行 自己評価 75%	92%	B	毎月1回以上は発行できたが、学級経営案に関係した内容について具体的に発信できていない。	月2回以上に発行回数を増やし、児童の変容や課題、教師の思いなど伝える。学級経営に関する内容については3月の学級通信で発信する。	○ ○			
	○HPによる情報発信	○学校のページを毎月1回、学年のページを2月1回更新する。	・目標更新回数の達成率	100%	土居	学年ページの更新 2回	100%	100%	A	目標回数が達成できたが、予定遅れの更新が多かった。	更新日を予定表に明記し、時間を設定して作成し、その日のうちにアップする。	○ ○			
	○保・幼・中・B小との連携	◎年間計画に位置づけ、連携を実施する。	・実施回数	8回	土居	計画通り実施中	100%	100%	A	校長、教頭、教務主任、担任の交流会実施。学校行事等に参加して交流している。幼稚園や保育所との交流も実施できた。	予定通り実施できた。教職員間の連携では小中各校の生活の決まりを持ち寄り、統一した生徒指導ができるように見直しを図る。保幼との交流はねらいに向けて内容を見直す。	○ ○			

(j:自己評価 評価) A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100

(l:学校関係者評価 評価) 適正:自己評価は適正である。 不明:わからない。

【j:自己評価 評価】 A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60

【l:学校関係者評価 評価】 適正:自己評価は適正である。 不明:わからない。
不適正:自己評価は適正でない。